

輸送動向について(平成23年6月分)

平成23年7月

1. 輸送概況

今月は、東日本大震災による常磐線の不通に加え、山陽線、日本海縦貫線において大雨による輸送障害が発生し、月全体では高速貨262本、専貨10本が運休した。なお、津波被害により営業を停止していた八戸臨海鉄道は6月2日に、鹿島臨海鉄道は6月7日にそれぞれ営業運転を再開した。

荷動きについては、震災から3ヶ月が経過し製造業全体として生産量は回復しつつあるものの、一部では部品調達の寸断が継続しており、輸送量は月を通して低調に推移した。

コンテナ貨物は、家電・情報機器が前年を上回ったものの、工場の被災により出荷が減少した紙・パルプ、食料工業品をはじめほとんどの品目が前年を下回り、全体では前年比92.8%となった。家電・情報機器は電力不足に伴う省エネ家電の販売増に加え、地上波デジタル放送への完全移行に伴う映像機器の取替え需要が高まったことから前年を上回った。一方、食料工業品は震災の影響により清涼飲料水の生産工場が一時的に変更されたことなどから出荷が低調となり、前年を大きく下回った。

車扱貨物では、石油、セメント・石灰石をはじめ全ての品目が前年を下回り、全体では前年比89.8%となった。セメント・石灰石はセメントが工場の定期修理の実施に伴い減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,609	1,734	92.8%	4,482	5,067	88.5%
車 扱	651	725	89.8%	2,046	2,328	87.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	99	106	-7	93.4%
	化学工業品	163	171	-8	95.3%
	化学薬品	122	126	-4	96.8%
	食料工業品	267	289	-22	92.4%
	紙・パルプ	205	266	-61	77.1%
	他工業品	137	146	-9	93.8%
	積合せ貨物	174	182	-8	95.6%
	自動車部品	75	76	-1	98.7%
	家電・情報機器	45	44	1	102.3%
	エコ関連物資	29	30	-1	96.7%
	その他	293	298	-5	98.3%
	コンテナ計	1,609	1,734	-125	92.8%
車 扱	石油	449	455	-6	98.5%
	セメント・石灰石	62	93	-31	66.4%
	車 両	57	73	-16	77.0%
	その他	83	103	-20	80.7%
	車 扱 計	651	725	-74	89.8%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)